

2月定例活動

アカマツ林
再生プロジェクト

名古屋で最大瞬間風速22mの春一番

が吹き荒れる中、2月23日(土)“アカマツ林再生プロジェクト”を行いました。当プロジェクトは2000年頃から始まり、毎年恒例となって現在も続いています。

もともと尾根筋にあったアカマツ林が、マツクイムシなどの影響で松枯れが進行していく中、なんとか尾根筋のアカマツ林を再生しようと試みてきたものです。

枯れていない母樹の樹高を半径として、その2～3倍の区域を更新範囲に定め、その中の灌木類の伐採を行うとともに熊手などを使って地表のかき起こし“ごうかき”を行います。

当日は、14名の参加の下、ヒサカキなどの刈り払いや林床の整理などを

行いました。そうした効果もあって、

すっかり明るくなった施工済みの区域では、現在、松の稚樹から3～4年のものまで林床にいっぱい生えています。今後も生長をしっかりと見守りたいものです。(小池)



←作業前



↓作業後

巣箱の点検・清掃

11月17日(土)、急に冷え込み寒い朝となったが天気は快晴。ヤマハゼが紅葉し、アオハダも黄葉し始め森は冬支度を始めていた。メンバー10名が集まったところへ「上空にオオタカとハイタカが舞っていたよ!」と古澤講師が声を弾ませてくれた。

カメラの画面と図鑑でハイタカとオオタカの違いを教えて頂く。よく似て

いるがハイタカの尾はまっすぐ横に水平に切れており、オオタカは山形になっているとのこと。再度見られることを願いつつ巣箱の点検に出発。

最初の巣箱は空っぽ。2つめは見事にスズメバチの巣が一杯に広がっていた。その後は土バチ、ゴキブリ、スズメバチ…と続く。

散策エリア上空でハイタカがかなり

低くまで降りてきて全員がエキサイト。途中メジロとシジュウカラの大群にも出会った。しかし、訪れたどの巣箱も1つを除いて使用された形跡は無く、古澤講師も当惑気味。来年に期待して設置場所を変えたり、巣箱の入り口の向きを微調整したりして点検・清掃作業を終えた。

古くなったり、壊れたり、紛失している巣箱も多く、新しい巣箱の製作を考える時期かも。(伊藤 晶)

四日市市「あがたの森づくり」の皆さんが視察にみえました

12月8日(土)の午前、三重県四日市市から「あがたの森づくり」の皆さんがオアシスの森を視察にみえました。穏やかな小春日和の中、総勢30名で約1時間、駆け足でオアシスの森を見てもらいました。大都会の中にこのような森があることに大変感動されていました。

森くらぶからは伊藤晶子さん、森さん、真弓がご案内をしました。(真弓)

10月定例活動
第9回どんぐり祭り
～雨天中止となりました～

10月27日(土)朝から雨。9時頃から

メンバーや天白土木事務所の方々が準備に集まりましたが、雨足は強まるばかり。11時頃まで粘ってみるも、やむなく中止が決定しました。

集まったメンバー等は、豚汁の具と

して用意された細切れの野菜を分け与えられ、渋々帰路に着いたのでした…。

次回は記念すべき10回目! 2回分まとめて、これまで以上の盛況な祭りにするぞ~!!! (編)